

浅ノ川総合病院看護部 教育理念と方針

教育理念

地域の医療を守り支える役割を担う看護職員を育成し、看護部の理念に沿った看護観の確立と専門職業人として必要な能力の獲得を目指す。現任教育では当院の役割を認識し、社会情勢の変動や多様なニーズに対応できる看護師の育成を目指す。

目的

現任教育の充実を図り、看護職員個々の資質の向上と職場の活性化を図る事により看護の質を向上させる。

目標

- 1) 看護・医療のニーズに見合った教育を実施し、看護の質の向上を図る。
- 2) 看護職員の現有能力向上のために生涯学習を推進する。
- 3) 周囲から信頼され、互いを尊重して行動できる看護師を育成する。

令和6年度 教育研修の企画内容

- ① 新規採用者研修 : 院内研修 入職時 7 日間
「入職時の研修内容」
 - ・看護部の理念・方針 : 講義
 - ・看護職としての心得 : 講義、グループワーク
 - ・安全対策 : 講義、演習 (内服の誤薬)、グループワーク
 - ・院内感染 : 講義、演習 (防護エプロン・マスクの着脱)
 - ・認知症の理解 : 講義
 - ・看護記録 : 講義、電子カルテの入力演習
 - ・看護技術演習 : 実技演習 3 日間
 - ・接遇について (院内研修…関連病院共催)
- ② 看護協会主催新規会員研修 : 院外 1 日間
- ③ 院内研究発表会 : 半日



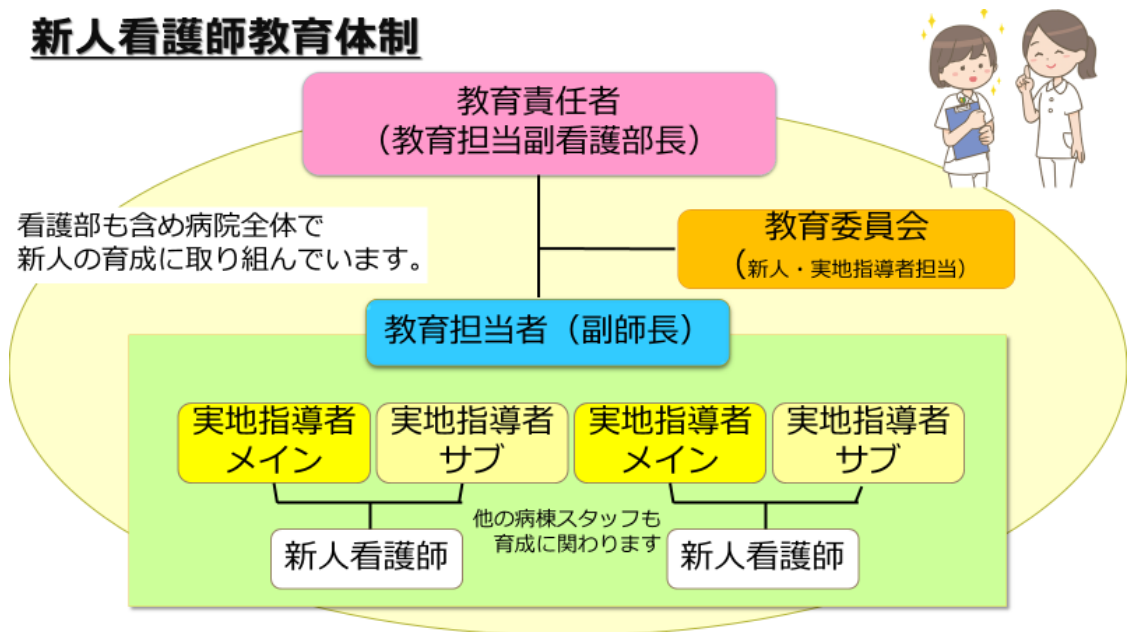
写真：令和5年度 看護技術演習の様子



新人教育体制

- ① 新人看護師 1 名に対して、2 名以上の『実地指導者』を配置します。実地指導者は新人看護師に対して臨床実践に関する実地指導や評価などのサポートを行います。
- ② 各部署の副師長が自部署の新人看護師『教育担当者』となり、現場での新人指導の運営を中心になって行い、新人看護師、実地指導者のサポートやスタッフへのフォローを行います。
- ③ 教育担当副看護部長が『研修責任者』となります。役割は新人研修のプログラムを企画・運営し、『教育担当者』『実地指導者』に指導・助言を行い、新人看護師への教育を支援します。

新人看護師教育体制



新人看護師と実地指導者、教育担当者との交流会

令和 4 年度はボウリング大会を開催しました。



新人看護職員 研修カリキュラム

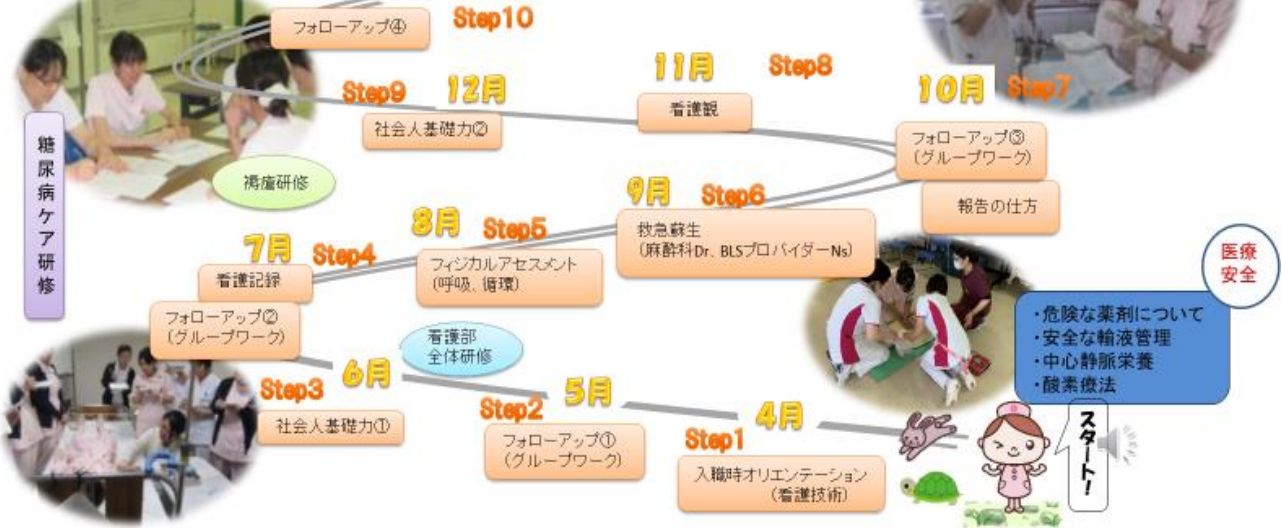


<1年後の目標>
看護の基本的な知識や技術を習得する！

☆業務時間内での研修が主体です

- ・輸液ポンプ、シリンジポンプ
- ・人工呼吸器装置時の管理と看護
- ・肺血栓塞栓症、深部静脈血栓予防

医療安全



医療安全

- ・危険な薬剤について
- ・安全な輸液管理
- ・中心静脈栄養
- ・酸素療法

令和5年度 院内研修

看護職		(月)											
対象者	研修名	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
実践能力	レベルⅠ 新人	フォローアップ(グループワーク)			●		●			●			●
	レベルⅠ 新人	フィジカルアセスメント					●						
	レベルⅠ 新人	救急蘇生						●					
	レベルⅠ 新人	報告の仕方 夜間や緊急時に備えて							●				
	レベルⅠ 新人	医療安全			●	●	●	●					
	レベルⅠ 新人	社会人基礎力				●						●	
	レベルⅠ 新人	看護観									●		
	レベルⅠ 新人	看護記録					●						
	レベルⅠ 新人	褥瘡予防:皮膚排泄ケア認定Ns					●						
	レベルⅠ 新人	接遇			●								
実践能力	レベルⅠ・Ⅱ	メンバーシップ						●					
	レベルⅠ・Ⅱ	自分をほめてやる気UP研修					●						
実践能力	レベルⅡ	リーダー1			●						●		
	レベルⅢ	リーダー2			●		●						●
実践能力	レベルⅢ	実施指導者研修	●		●		●		●		●		●
	全レベル共通	看護観再確認				●						●	
実践能力	全レベル共通	臨床倫理							●	●			
	全レベル共通	チームワーク研修						●					
全ての看護部職員	全ての看護部職員	看護部の理念と方針			●								
	全ての看護部職員	リフレクション研修					●				●		
	全ての看護部職員	アサーション研修										●	
	全ての看護部職員	生活習慣病・糖尿病ケア				●	●	●	●	●			
	全ての看護部職員	緩和ケア:緩和ケア認定Ns がん性疼痛認定Ns他				●			●			●	
	全ての看護部職員	医療安全/感染対策 適時動画配信も実施します。							●	●	●		

e-ラーニングシステム

令和5年度より 学研メディカルサポート e-ラーニングシステムを導入しました。

院内でも自宅でも、どこでもスマホやタブレット、パソコンから短時間で繰り返し最新のエビデンスに基づいた看護手順が学べます。また、著名講師陣による様々なレベルに応じたインターネット講義により最新の情報・技術・知識を習得することができます。



キャリアアップ支援

① クリニカルラダー制度（臨床看護実践能力習熟段階）

患者を中心とした看護の質の向上と、看護師のエンカレッジ〈励ます、勇気づける、承認する〉や以下の1)～4)を目的にクリニカルラダー制度を導入しています。

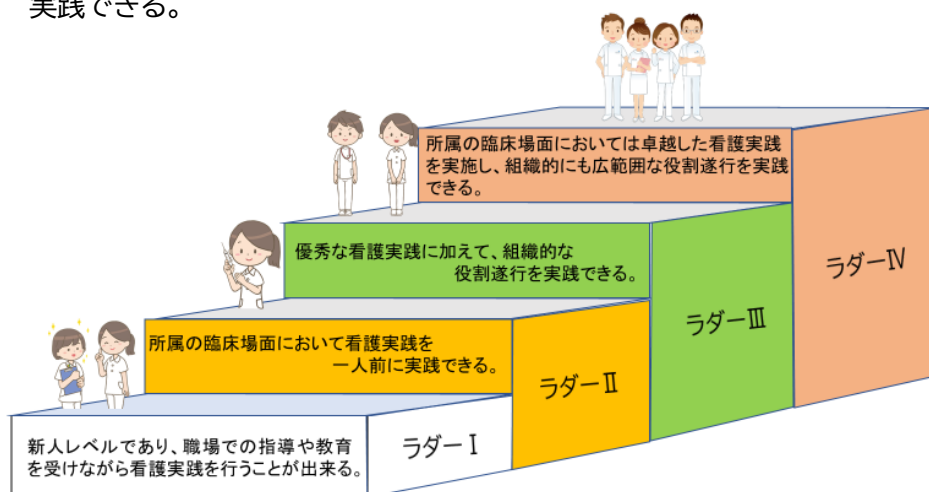
- 1) 看護職員の臨床実践能力を評価し、動機づけにする。
- 2) 看護職員の仕事の満足度を高める。
- 3) 看護職員の個々のキャリア開発に役立てる。
- 4) 自律した看護職員の育成につなげる

レベルⅠ：新人レベルであり、職場での指導や教育を受けながら看護実践を行うことができる。

レベルⅡ：所属の臨床場面において看護実践を一人前に実践できる。

レベルⅢ：優秀な看護実践に加えて、組織的な役割遂行を実践できる。

レベルⅣ：所属の臨床場面においては卓越した看護実践を実施し、組織的にも広範囲な役割遂行を実践できる。



- ② 助産師を目指す人：奨学金貸与制度あり
- ③ 認定看護師を目指す人：助成金支給制度あり
- ④ 特定行為研修の受講を希望する人：助成金支給制度あり
- ⑤ その他、学会及び研修会参加：参加費用などへの補助があります。